

「警備業における労災リスクの考察」

JR九州セコム 熊本営業所

二井 幸一郎

警備業に携わる我々警備員にとって、労災リスクは避けず通水な問題であり、ご契約先様の財産、生命、安全をお守りしながら、加えて何よりも自分自身の安全も自身で守らなければならぬと言ふ職務上の特性を持つ。労災とは業務上で発生した怪我や事故、病気の事であり、通勤途上の事故も労災の範囲に

含まれる。労災の発生する割合の高い場所として考えられるのは製造工場や工事現場等であるが、我々警備員も当然例外ではない。その様な製造工場や工事現場への警備に携わる我々警備員は業務中に事故や怪我を負うかねない状況に遭遇する場合もあり得るわけに、労災の被害者となる確率が比較的高い職業であると考えられる。そのため日常的に高い危機管理意識を持ち、どのような状況下においても冷静に対処しながら人と自分の安全を

確実に確保する事が出来な様に不断の努力が
必要なのである。

現在私は製造工場内における常駐施設警備に
従事し、工場施設内の安全と安心確保に日々
努めているが、常駐施設警備への主な業務は
①出入管理 ②巡回 ③緊急対応 ④設備監視の4
項目であるが、それぞれの業務において労災
の発生する可能性がある。故にこれらの業務
と関連して起り得る労災リスクと、それに対
する対処の仕方等について考察してみた。

まず出入管理であるが、出入管理の主たる業
務である立哨及び受付業務においては、近年
セクハラやパワハラ、モラハラ等のいわゆる
ハラメント問題も大きくなっており、我々
警備員が立哨時や受付対応時に横柄な態度や
高圧的な態度をとったり、特に異性に対して
不要な声掛け等をすれば相手側の気分を著し
く害する恐れがありトラブルになりかねない
為、常に丁寧で目配り、気配り、心配りのあ
る対応を心掛けなければ、我々警備員は労災

の被害者のみならず加害者にもなり得るとの認識をすべきである。

次に巡回と緊急対処について、巡回時に何らかのトラブルに遭遇し緊急対処に発展するケースも考えらる。又自身の不注意によって事故となる場合もあり得る。例えば、室内巡回時に階段を踏み外して転倒したり、外周巡回時、特に夜間の巡回時に暗がりや緑石や段差等に踏み転倒する等労災の事案としては特に転倒による事が多い為、日常業務で歩き慣

れな場所であっても特に足元には常に気を配りながら油断せずと歩行する事が労災防止に繋がる。巡回時の労災リスクとして最も大きくなりリスクとして考えらるのは、潜伏中の賊や不審者に遭遇しその対処時に相手の攻撃を受け受傷する事であろう。この事案に遭遇する確率はかなり低いと思われるが全くあり得ない事ではない。我々の警備員はご契約先様と安全と安心を提供する「安全生産業務」に従事しており、各方面において労災リスクの

高の職業である事への認識と自覚を持ちながら
 日々業務に取り組まなければならぬ。
 但し、巡回時の不測のトラブルを回避し身の
 安全を守る為の行動、決め事として三又丁の
 行動と言う行動ルールがある。例えば利き腕
 が空く事によって緊急事態に備える「左回り
 の原則」や巡回時に自分の所在を知らせたい
 様にする為の「行動の秘歴」、例えば鍵の触
 れ音や足音や不要なライト点灯をしない
 等、自身の発する音や光に注意をする事が必

要である。又、扉のかげや曲がり角等「死角
 の確認」もリスク回避の重要なポイントであ
 る。不審者のみならず不審物にも留意しなけ
 れば思わぬ事故となり重大な常災となる恐れ
 がある。巡回時や緊急対応時に何かおかし
 い、あきらかたいつもと遠く違和感や異常を感
 じた時は作業や行動を①止める②応援者を呼
 ぶ③応援者が来るのを待つと言う止める、呼
 ぶ、待つの3原則を守りながら警戒は怠らな
 い様に注意し、人と自身の安全確保に努める

べきである。結論として労災防止の為にすべ
き事は決められたいルールや作業手順を遵守し
常に危機管理意識を持ちながら日々の業務に
取り組む事が必須であると考える。

最後に、近年大きな問題となっている労働力
、人手不足の問題について70歳の高齢者でも
雇用する企業が4割増し急増している。
同時に高齢化による問題も顕著になっており
60歳以上の労働者による労災の発生件数が22
年度は約3万8千件もありこの数年間、非常

に急増しているとの統計もある。体力や注意
力の低下により若者なら充分回避出来る事故
も高齢者には避ける事が出来ず労災発生に至
る事も多くなっている。個人での労災防止に
対する意識は当然必要であるが、企業として
は高齢者を雇用するのであれば安全に働ける
職場環境を整備しなければ労働力の確保とい
うか逆に労災発生の対応、対策に追いついて、
生産性の低下を招きかねない事に充分な配慮
をすべきであると考える。